

第10次計画の成果指標と進捗状況（経年）

【令和元年度まで確定値・令和2年度は一部途中経過】

資料 2-2

指 標		基準値 H27年度	計 画 期 間					目 標 R2年度	達 成 状 況
			H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (途中経過)		
① 産業界のニーズ を踏まえた多様 な能力開発	1 訓練修了者（ものづくり分野を 除く）の就職率	79.8%	79.9%	75.9%	76.6%	73.3%	76.0%	80.0%	△概ね達成 (途中経過)
	2 委託訓練の開講定員に対する受 講者の割合	70.6%	66.1%	74.2%	68.8%	76.3%	73.2%	80.0%	△概ね達成
	3 在職者訓練の開講定員に対する 受講者の割合	64.3%	68.5%	69.6%	64.3%	62.4%	39.4%	70.0%	▲未達成 R2中止コース多数
② ものづくり産業 の成長を支える 人材の育成	4 ものづくり分野の訓練修了者の 就職率	94.8%	94.9%	93.2%	93.3%	89.0%	90.0%	100%	△概ね達成 (途中経過)
	5 テクノスクール修了生（学卒者 訓練）の就職1年以内の離職率	22.4%	5.6%	18.9%	18.9%	18.3%	18.5%	13.0%	▲未達成
	6 技能検定の県内合格者数	2,502人	2,836人	2,886人	2,974人	3,568人	2,069人	3,000人	◎R1に達成済み R2試験一部中止
③ 全員参加の社会 の実現に向けた 能力開発	7 女性の訓練修了者の就職率	82.5%	84.0%	79.0%	79.0%	76.5%	78.5%	85.0%	△概ね達成 (途中経過)
	8 高齢者（55歳以上）の訓練修 了者の就職率	64.7%	67.6%	67.6%	59.8%	66.4%	70.2%	70.0%	◎達成 (途中経過)
	9 デュアルシステム訓練による就 職者の常用雇用率	76.6%	81.8%	85.3%	80.3%	87.0%	85.0%	90.0%	△概ね達成
	10 障害者の職業訓練による就職者 数	77人/年	78人/年	71人/年	57人/年	37人/年	45人/年	100人/年	▲未達成

- ・ 就職率及び常用雇用率は、修了後3か月経過したコースのみで算出。
- ・ 斜体は未確定のもの。（訓練期間が令和3年度にまたがるなどのため）

目標値に対する達成度 ◎…達成（100%以上）、△：概ね達成、▲：未達成

指標1 訓練修了者（ものづくり分野を除く）の就職率

<指標の値>

計画期間

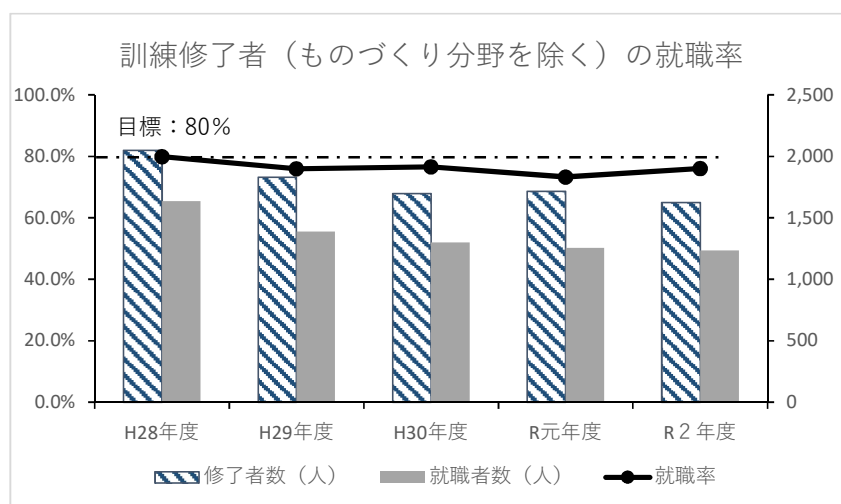
指標	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (途中経過)	目標
	H27年度						R2年度
	79.8%	79.9%	75.9%	76.6%	73.3%	76.0%	80.0%

<達成状況>

概ね達成

<実施状況のデータ>

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
就職率	79.9%	75.9%	76.6%	73.3%	76.0%
修了者数（人）	2,048	1,829	1,698	1,715	1,624
就職者数（人）	1,636	1,389	1,301	1,257	1,235



【評価】

H28年度は良好であったが、計画期間であるH29年度以降は目標に達しなかった。
R元年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、実績では大きく低下することはなかった。

【今後の取組】

就職支援を引き続き強化するとともに、介護分野など人手不足分野での就職につながるコースを設定する。

また、デジタル化の進展への対応及びIT誘致企業での就職につながる基礎的～中級のITスキルを身に付けるコースにより早期の再就職支援を行う。

指標2 委託訓練の開講定員に対する受講者の割合

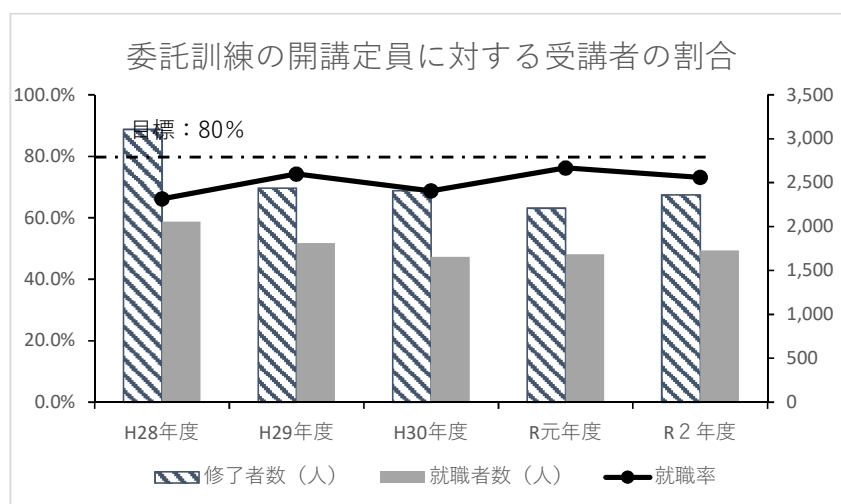
← 計 画 期 間 →

指 標	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (途中経過)	目 標
	H27年度						R2年度
	70.6%	66.1%	74.2%	68.8%	76.3%	73.2%	80.0%

<達成状況> **概ね達成**

<実施状況のデータ>

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
就職率	66.1%	74.2%	68.8%	76.3%	73.2%
修了者数(人)	3,107	2,440	2,407	2,211	2,359
就職者数(人)	2,055	1,811	1,656	1,686	1,726



【評価】

開講定員に対する受講者の割合は概ね7割となった。

一方、本指標の実績値が100%に近くなると、受講を希望する求職者の受け皿としては十分とは言えない。概ね80%に近いことから、セーフティーネットの面からも妥当な実績であったと考えられる。

【今後の取組】

新規雇用保険受給者数の増減、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら定員を設定し、適切な訓練受講機会の提供に努める。

指標3 在職者訓練の開講定員に対する受講者の割合

<指標の値>

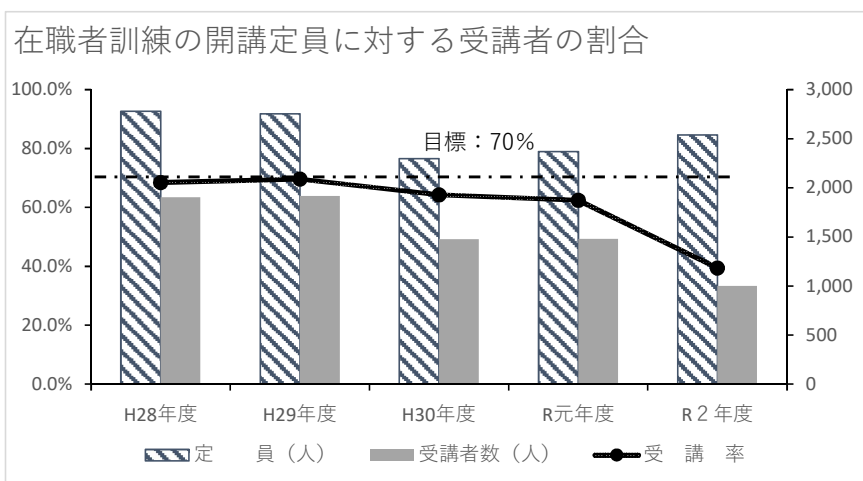
指標	基準値	計画期間					目標
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R2年度
	64.3%	68.5%	69.6%	64.3%	62.4%	39.4%	70.0%

<達成状況>

未達成

<実施状況のデータ>

年度		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
受講率		68.5%	69.6%	64.3%	62.4%	39.4%
定員(人)		2,780	2,754	2,298	2,369	2,539
受講者数(人)		1,903	1,917	1,477	1,479	1,001
レディーメイド	受講率	63.3%	64.9%	60.2%	57.9%	37.6%
	定員(人)	1,884	2,093	1,954	2,042	2,417
	受講者数(人)	1,193	1,358	1,177	1,183	910
オーダーメイド	受講率	79.2%	84.6%	87.2%	90.5%	74.6%
	定員(人)	896	661	344	327	122
	受講者数(人)	710	559	300	296	91



【評価】

過去の受講者実績や企業の要望から、主に年度当初にテクノスクールが事前に日程を決定し、広く受講者を応募し実施する「レディーメイド」による訓練の受講率が低迷した。

これに比べ、企業の要望により、その従業員等を対象として個別に実施する「オーダーメイド」による訓練の受講率が高いことから、在職者訓練のニーズとしては訓練の内容だけでなく、実施時期等の実施方法に関するニーズにも応える必要があると考えられる。

【今後の取組】

オーダーメイドで実施した訓練等を参考とし、県として実施すべきコース（民間教育訓練との競合を避けるなど配慮）を設定するとともに、より多くの在職者から受講してもらうことにより、在職者の能力の向上と企業の生産性の向上に寄与するよう努める。

在宅勤務やオンラインを活用することにより、在職者が受講しやすいコースの検討が必要となる。

指標4 ものづくり分野の訓練修了者の就職率

<指標の値>

計 画 期 間

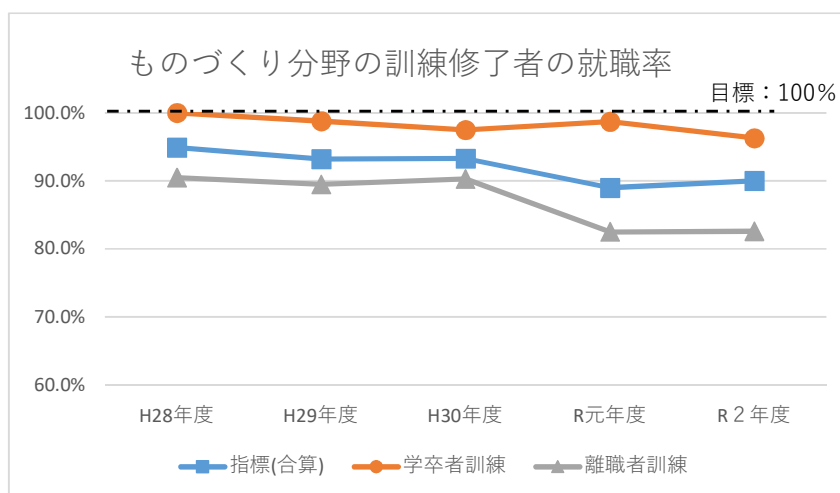
ものづくり の職業訓練	基準値 H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (途中経過)	目 標 R2年度
指標(合算)	94.8%	94.9%	93.2%	93.3%	89.0%	90.0%	100%
うち 学卒者訓練	100.0%	100.0%	98.8%	97.5%	98.7%	96.3%	—
離職者訓練	90.0%	90.5%	89.5%	90.3%	82.5%	82.6%	—

<達成状況>

概ね達成

<実施状況のデータ>

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
指標(合算)	94.9%	93.2%	93.3%	89.0%	90.0%
学卒者訓練	100.0%	98.8%	97.5%	98.7%	96.3%
離職者訓練	90.5%	89.5%	90.3%	82.5%	82.6%



【評価】

学卒者訓練の就職率は毎年度ほぼ100%であり、未定者はさらなる研鑽のために進学をする者が若干名いるため目標はほぼ達成した。

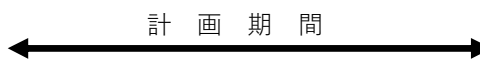
一方、離職者は、早期の再就職を目指して受講したものの、就職活動が長引いて修了後の一定期間内（修了後3か月）に就職が決定しなかった者や、家庭の事情、体調等やむを得ない理由により早期の再就職を見送った者がいるが、毎年、ものづくり分野以外の就職率（指標1）よりも10ポイント程度高い。

【今後の取組】

これらを考慮して、一人ひとりに合った就職指導を行い、働くことができる全ての人が就職できるよう取組を継続する。

指標5 テクノスクール修了生（学卒者訓練）の就職1年以内の離職率

<指標の値>



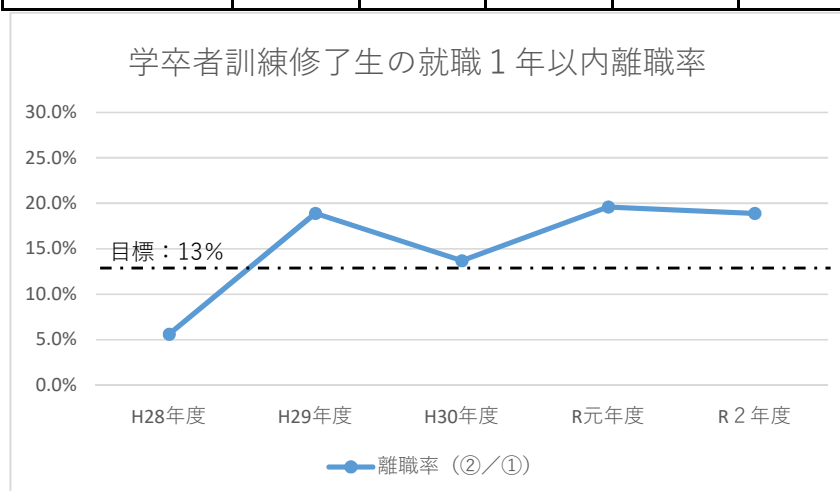
指標	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (途中経過)	目標
	H27年度						R2年度
	22.4%	5.6%	18.9%	13.7%	19.6%	18.9%	13.0%

<達成状況>

未達成

<実施状況のデータ>

調査年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
調査対象者修了年月	H28.3月	H29.3月	H30.3月	H31.3月	R2.3月
離職率(②/①)	5.6%	18.9%	13.7%	19.6%	18.9%
調査回答数①	125	106	102	112	106
離職回答数②	7	20	14	22	20
(参考) 修了者数	145	125	111	121	109
(参考) 就職者数	141	124	110	118	108



【評価】

基準値のH27年度の22.7%よりも低下したものの、目標には達しなかった。

【今後の取組】

一人ひとりに合った職業選択となるよう、引き続き就職指導に努めることで、長く勤められる企業へ就職できるよう支援する。

また、1年以内に離職した者も無料職業紹介の対象として、テクノスクールが求人企業に直接あっせんすることで切れ目のないキャリアとする取組を検討する。

指標6 技能検定の県内合格者数

(単位：人)

<指標の値>

指標	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度*	目標
	H27年度						R2年度
	2,502	2,836	2,886	2,974	3,568	2,069	3,000

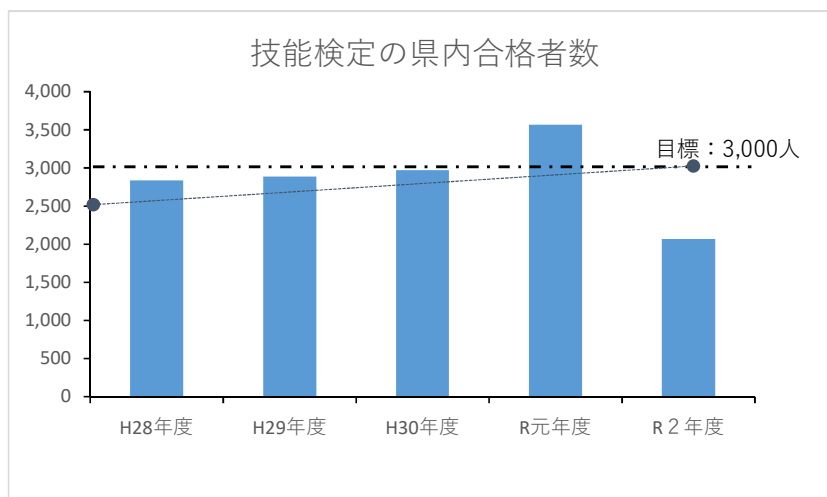
* 上期の検定試験は全て中止となった

<達成状況>

R1年度に達成 (R2年度は試験が中止となり未達成)

<実施状況のデータ>

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
県内合格者数 (人)	2,836	2,886	2,974	3,568	2,069



【評価】

R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、上期の検定試験を全て中止したため合格者が少なかったが、毎年合格者は増加傾向にあり、R元年度に目標を達成した。

【今後の取組】

新型コロナウイルス感染症の影響への対応をしつつ、安心して受検できるよう環境整備に努める。

指標7 女性の訓練修了者の就職率

← 計 画 期 間 →

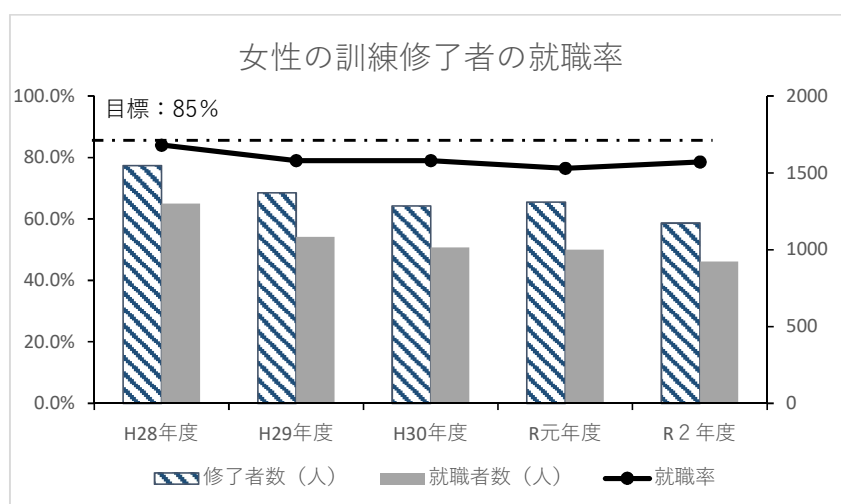
<指標の値>

指 標	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (途中経過)	目 標
	H27年度						R2年度
	82.5%	84.0%	79.0%	79.0%	76.5%	78.5%	85.0%

<達成状況> **概ね達成**

<実施状況のデータ>

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
就職率	84.0%	79.0%	79.0%	76.5%	78.5%
修了者数(人)	1,548	1,371	1,285	1,309	1,174
就職者数(人)	1,301	1,083	1,015	1,001	922



【評価】

国の委託訓練（離職者訓練）目標就職率75%は毎年達成した。

【今後の取組】

1日の訓練時間を短く設定した育児等両立支援コースや託児サービス付き訓練の設定により受講しやすい環境を提供するとともに、就職指導に加えて、必要に応じて女性の就業支援事業やマッチング事業などを紹介し、再就職の支援に努める。

指標8 高年齢者（55歳以上）の訓練修了者の就職率

← 計 画 期 間 →

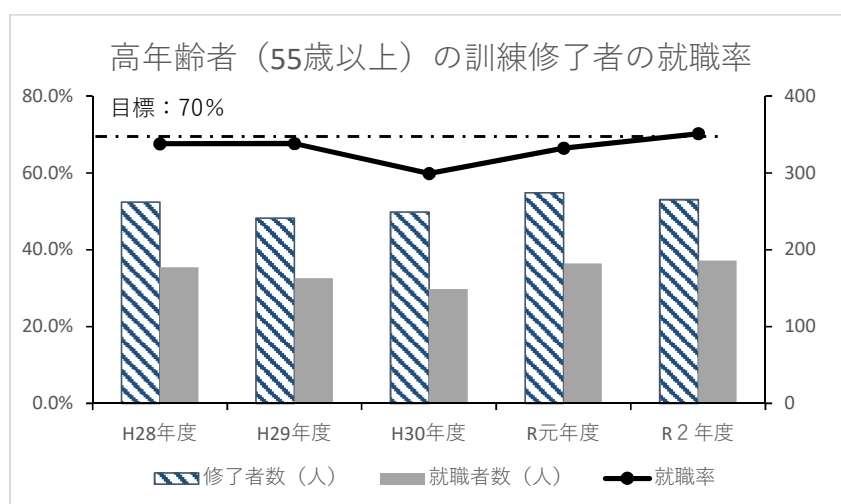
<指標の値>

指 標	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (途中経過)	目 標
	H27年度						R2年度
	64.7%	67.6%	67.6%	59.8%	66.4%	70.2%	70.0%

<達成状況> **達成**

<実施状況のデータ>

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
就職率	67.6%	67.6%	59.8%	66.4%	70.2%
修了者数（人）	262	241	249	274	265
就職者数（人）	177	163	149	182	186



【評価】

R2年度は途中経過ではあるが、目標を達成した。

【今後の取組】

中高年齢者向けの専用コースをH30から全県で実施（新潟校ではそれ以前から実施）を継続する。

また、高年齢者の受講者割合は高くなる傾向（H28：12.6% → R2：15.6%）があるため、指導者及び就職支援担当者を対象として、高年齢者向けの就職指導に関するセミナー等の開催により、訓練受講者の就職支援に努める。

指標9 デュアルシステム訓練による就職者の常用雇用率

← 計 画 期 間 →

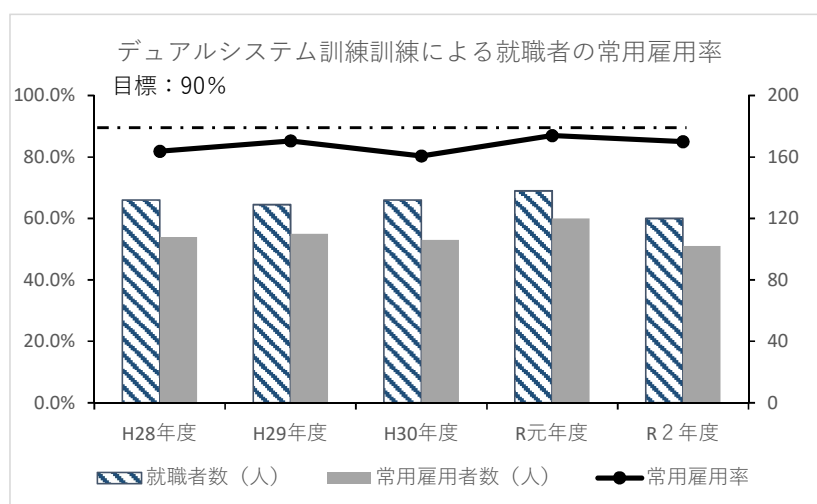
<指標の値>

指 標	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (途中経過)	目 標
	H27年度						R2年度
	76.6%	81.8%	85.3%	80.3%	87.0%	85.0%	90.0%

<達成状況> **概ね達成**

<実施状況のデータ>

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
常用雇用率	81.8%	85.3%	80.3%	87.0%	85.0%
(参考値) 就職率	82.0%	75.0%	77.6%	78.4%	73.6%
就職者数 (人)	132	129	132	138	120
常用雇用者数 (人)	108	110	106	120	102



【評価】

目標値には未達であるが、目標値に近い結果であったためほぼ達成。

【今後の取組】

施設内訓練については国家資格の取得ができ、安定雇用にも結びついていることから継続する。委託訓練においては、若者に人気があり、かつ企業のデジタル化にも対応するIT分野のコースの設置を継続する。

指標10 障害者の職業訓練による就職者数

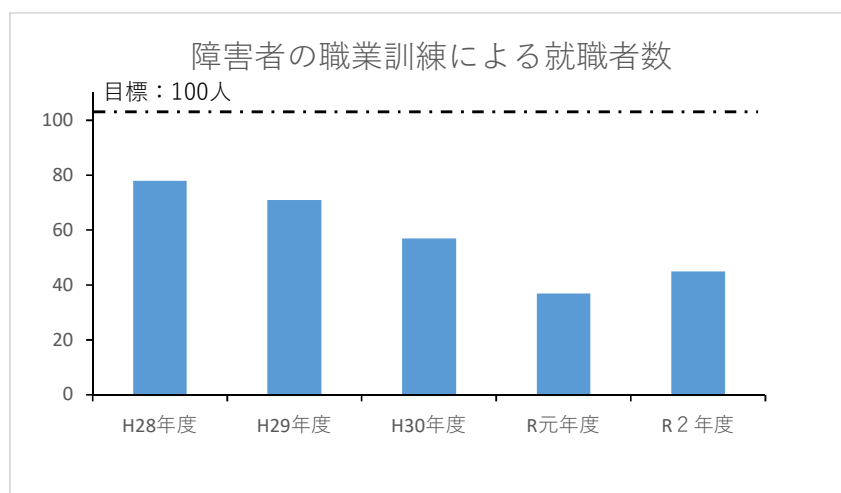
← 計画期間 → (単位：人)

指標	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	目標
	H27年度						R2年度
	77	78	71	57	37	45	100

<達成状況> **未達成**

<実施状況のデータ>

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
就職者数(人)	78	71	57	37	45
入校者数(人)	118	108	90	59	72



【評価】

年々入校者数が減少しており、必然的に就職者数も減少傾向にある。障害者雇用の法定雇用率達成のために企業の採用意欲が高まったことも要因となっている。

なお、R2年度の就職率は69.2%（就職45人／修了65人）で、国の目標55%以上を超えている。

【今後の取組】

まずは受講者の確保が重要であることから、引き続き、職業訓練のメリットを周知する。

また、障害者訓練は事業所におけるOJTが認められており、就職に結びつきやすいことから訓練生を受け入れる企業の開拓を強化する。

精神障害及び発達障害等の訓練生が増加していることから、専門知識を有するカウンセラーを配置し、訓練生や職業訓練指導員等に対して相談支援を実施する。